

第32回スーパージョイントカップヨットレース（2023年）

帆走指示書（S I）

[お願い（規則外）]

本大会は、関西ヨットクラブと大阪北港ヨットクラブとの親睦を図る大会であり、レース参加への手続きも簡素化し、海上集合・海上解散の形で運営いたします。参加艇におかれては、スポーツマンシップに則って、安全第一でレースを楽しんでいただきますようご理解とご協力をお願い申し上げます。

1、適用規則

- 1.1 本レースは「セーリング競技規則 2021-2024（RRS）」に定義された規則を適用する。
- 1.2 レース公示と帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。
- 1.3 外洋特別規定（OSR）2022-2023 附則 B インショアレース用特別規定並びに OSR 国内規定を適用する。
- 1.4 RRS の付則 T を適用する。

2、競技者への通告

競技者への通告は、KYC: ウェットバー OHYC: メルボルンハウスに設置された公式掲示板に掲示する。

3、帆走指示書の変更

SI の変更は、開催日の出艇申告受付開始前に、公式掲示板へ掲示される。

4、陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、出艇申告受付開始前から抗議受付締切時刻までの間、レース本部のポールに掲揚される。
- 4.2 AP 旗が音響 2 声と共に掲揚された時は（降下の時は音響 1 声）、「レースは延期された。予告信号は AP 旗の降下後 30 分後に発せられる」ことを意味する。これはレース信号、AP 旗を変更している。

5、[NP] 日程・出艇申告

- 5.1 本大会は 1 レースを予定する。

11月12日（日） 10:00 から 10:40 出艇申告はレース海面にて行う

艇長会議は実施しない

10:55

予告信号

レースタイムリミットは SI 18 のとおり

レース終了次第

表彰式（15:00頃からを予定）

大阪北港マリーナ ヘミングウェイ 2F で行う

- 5.2 出艇申告は、レース海面上に設置する本部艇にて行うので、参加艇は、順序良く本部艇に接近し、本部艇に艇名と乗員数を届けて、本部艇より確認を受けてください。尚、艇同士の接触や負傷等に注意ください。

6、クラス

- 6.1 本大会ではクラス分けは実施せず、クラス旗として OHYC クラブ旗を使用する。



7、レースエリア

大阪湾西宮一文字防波堤沖とする

8、コース

三角形のコースを 2 周する 6 レグとし、通過すべき各マークの位置、順序は末尾コース図のとおり。

9、マーク

各マークは、黄色の三角体と立方体ブイを使用する。

10、コミッティーポート

- 10.1 本部艇には、OHYC 旗（大）をトップに掲揚する。
- 10.2 運営艇として、OHYC 「たけなわ艇」を使用する。

11、スタート

- 11.1 レースは、RRS26 に従ってスタートする。尚、予告信号は 10:55 を予定する。但し、参加される艇種や艇数によって、スタートを分ける場合もある。この場合、次の予告信号は前の予告信号の 5 分後とする。
- 11.2 スタート信号後の 15 分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった」と記録される。これは RRS A4 を変更している。

12、[NP] 個別リコール

個別のリコールを発する場合には、本部艇は RRS29.1（個別リコール）に基づく旗・音響信号と共に VHF 72ch で、その艇のセール番号、艇名を送信するように努めるものとする。但し、送信できなかつたり、送信の時期が適切でなかつたり、または聴取できなかつたりとしても、救済要求の根拠にはならないものとする。これは RRS62.1 を変更している。

13、ゼネラルリコール

ゼネラルリコールは、RRS29.2 により信号を発する

14、コース短縮

レース委員会は、コースの短縮を行うことがある。

15、コースの変更

原則として、コースの変更は行わない。

16、一時的なエンジンの使用

- 16.1 艇は、そのレースで著しく有利とならない範囲で、次の場合にエンジンまたは他の方法で推進することができる。
 - 16.1.1 コース上の障害（灯標、灯浮標等）または船舶、艇との衝突を緊急に防止する場合
 - 16.1.2 無風、または強潮を含む極端な天候から避難する場合
- 16.2 艇がエンジン又は他の方法を使用した場合、使用開始時刻及び停止時刻（又は稼働時間）、及び使用状況（使用を開始した時点での概位、航方位、マイル数等）を記録した申告書を、抗議締切時刻までにレース本部に提出しなければならない。
- 16.3 [NP] 申告に基づき、適当と判断される値のペナルティーを課すことがある。

17、フィニッシュ

フィニッシュラインは、運営艇の青色旗を掲揚したポールとフィニッシュマーク（黄色）との間とする。

18、タイムリミット

レースタイムリミットは、レーススタート後 150 分とする。この時刻までにフィニッシュしなかった艇は、レースにフィニッシュしなかった（DNF）と記録される。これは RRS35 及び A4 を変更している。

19、[NP] 帰着申告、リタイア

- 19.1 帰着申告は、レースのフィニッシュをもって申告とする。
- 19.2 レースからリタイアした艇は、速やかにレース委員会に報告しなければならない。

20、抗議

- 20.1 抗議書は、レース本部又は本 HP から入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、その日のレースの終了後 90 分以内にレース本部に提出されなければならない。

- 20.2 抗議締切時刻は、公式掲示板等に掲示される。
- 20.3 抗議の通告は、審問の場所及び時間、抗議の当事者、又は証人として指名された者を競技者に知らせるため、抗議受付締切時刻後 30 分以内に掲示される。
- 20.4 レース委員会、プロテスト委員会による抗議は、RRS61.1 [b] に基づき公式掲示板に掲示する。
- 20.5 抗議は、出来るだけ早く、ほぼ受付順に審問される。
- 20.6 [NP] S119「出艇申告および帰着申告」、24「安全規程」、25「無線の使用」の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は RRS60.1(a) を変更している。
これらの違反に対するペナルティーは、失格より軽減することができる。

21、安全規定 [NP]

- 21.1 本大会においては、Y 旗の掲揚の有無を問わず、陸上又は栈橋を離れて、海上に居る間は常に救命胴衣を着用するものとする。これは RRS 40 を変更している。
- 21.2 個人用浮力用具、救命胴衣等は、全ての着衣の上に装着すること。
- 21.3 レース委員会又はプロテスト委員会がこれに違反している艇を目撃した場合には、警告、若しくは失格又は適当と判断されるペナルティーを課すことがある。

22、無線の使用 [NP]

- 22.1 本大会の参加艇は、レース海域で使用可能な携帯電話を 2 台以上携帯すること。
- 22.2 レース委員会は、出艇申告受付時に GPS 端末を艇に搭載することを求める場合がある。
この場合、艇は搭載を拒否できないものとする。
- 22.3 レース委員会は、VHF 72 チャンネルにより、レース参加艇にレースの運営に関するアナウンスを行うように努める。
- 22.4 レース参加艇は、緊急以外で、本大会参加中に VHF (ch72) での無線送信をしてはならない
- 22.5 この項に定める以外の通信形態、情報ソースは何ら制限しない。これらは RRS 41 の「外部の援助」に該当しないものとする。

23、責任の否定

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 4 [レースをすることの決定] 参照。
主催団体は、この大会の前後、期間中に生じた物理的損傷または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

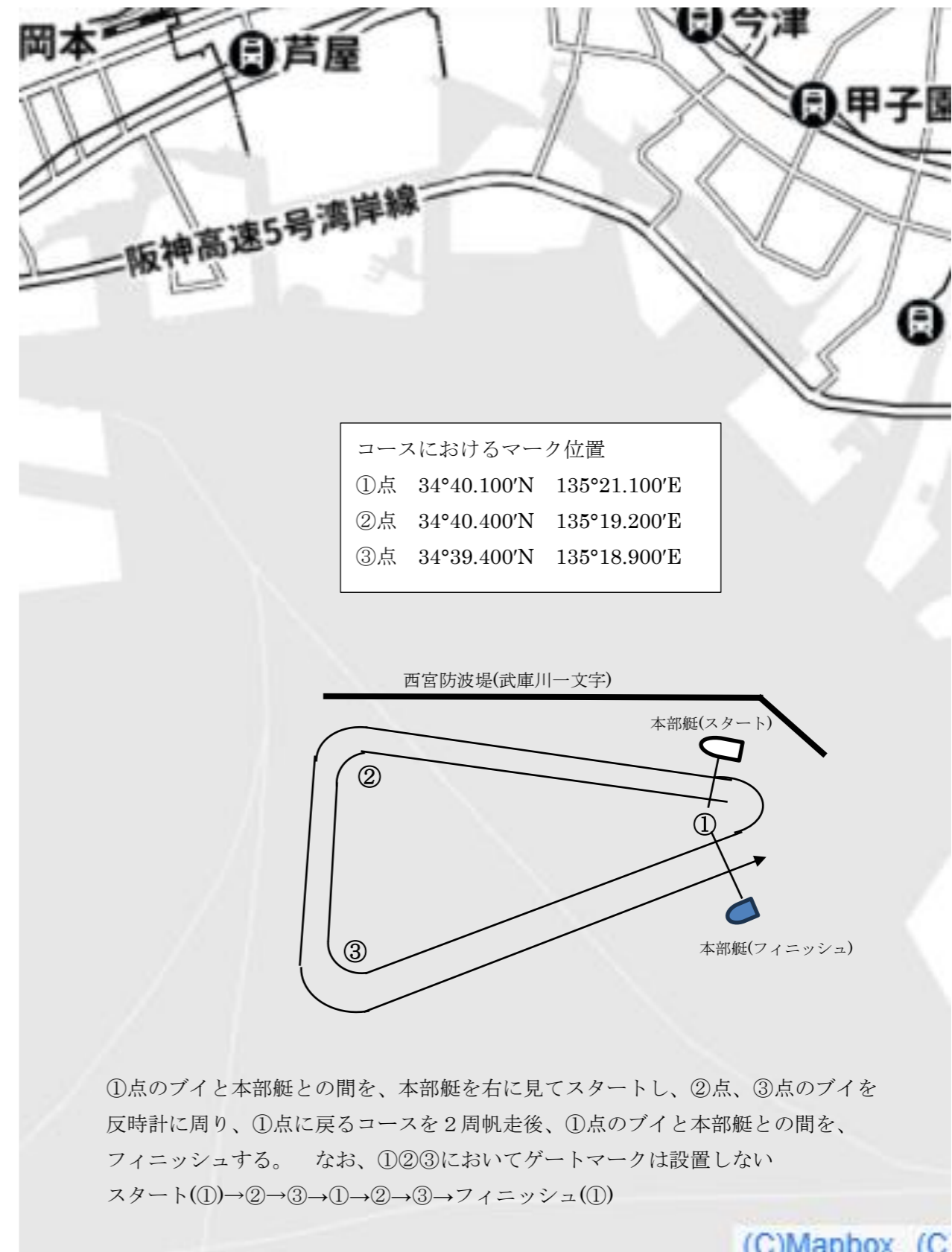
その他の事項

- この大会のレース本部等は、大阪北港マリーナ内メルボルンハウス内に置く。

緊急連絡先	レース委員長	宇都宮則夫	090-5464-2423
	委員	田淵秀博	070-8952-1624
	委員	藤本増夫	090-3166-8993

- 大阪北港マリーナへ入港を希望される艇の係留位置については、追って本 HP に掲示します。

別紙 (コース図)



審問要求書／プロテスト委員会からのその他の処置要求書

受付時刻 日付: 時刻:		抗議締切時刻:	ケース番号:
1. レース日:	シリーズ:	レース番号:	
2. 審問の種類 <input type="checkbox"/> 抗議 - (艇の規則違反に関する申し立て) <input type="checkbox"/> DP ペナルティーの報告 (規則 64.6) <input type="checkbox"/> 救済要求 <input type="checkbox"/> 支援者に関する報告 <input type="checkbox"/> 審問再開の要求 (規則 66) <input type="checkbox"/> 不正行為の報告 (規則 69)			
3. 申立人 - 抗議者, 申立者, 救済要求者, 報告者			
クラス / フリート:	セール番号/艇名:	または	委員会名:
所属:	氏名:	電話番号:	
4. 被申立人 - 被抗議者, 救済を要求する委員会, 支援者, 不正行為の関係者			
クラス/フリート/委員会名	セール番号/艇名/氏名	電話番号(知っていれば)	
5. 被抗議者への通知 - 抗議する場合, 抗議の意思をどのように伝えたか?			
声かけ:	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
赤色旗の掲揚:	<input type="checkbox"/> 必要なし	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
他の方法:	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	

6. インシデントの詳細 いつどこで?

見取り図 (必要に応じて): 風/潮の情報を含む

適用規則:	証人: (氏名)
取り下げの要求者: (氏名)	要求の承認者: (氏名)